



新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

忘れられない一日 ～全校みんなで目標に向かって～

校長 佐藤 朗子

朝晩はだいぶ冷え込むようになりました。登校時に、寒そうにポケットに手を入れて歩く子を見かけます。「危ないから手を出そうね。」と声をかけています。

10月18日(日)にスポーツフェスティバルが行われました。17日が雨だったため、順延しての開催になりましたが、途中晴れ間も見える大変気持ちのよい天気になりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午前中のみで開催としましたが、忘れられない一日になりました。

本校のスポーツフェスティバルの目標の中には、次のようなものがあります。

- 体育学習を中心とした学習成果を発表し、その充実進歩を図る。
- 主体的に活動することにより自主的実践的態度を養う。
- 運動を通して、学年間の交流を深める。
- 学校行事を盛り上げることにより、全校的な共感を深め、協力、責任等の社会性をのばす。

今の状況のなかで、少しでもこの目標に迫ることができるようにするには・・・。計画段階から職員で話し合いました。今年度の体育授業では、密集したり接触したりする運動を控えているため、団体競技は行わないことにしました。しかし、「児童が関わる活動を児童のスポーツフェスティバル実行委員会を中心に計画する。」という、これまでの新鶴見小の方針は引き継ぐ形で進めていきました。スローガンは「なかまとつながる ころろにのこる スポーツフェスティバル」に決まり、フェスティバルを盛り上げるための、今年ならではの活動(聖火リレーや応援旗の制作)にも取り組みました。また、応援団やリレー、5、6年が担当する係活動も、少し変更を加えて実施し、子どもたちが活動できる場をつくりました。

スポーツフェスティバル当日、それぞれの役割を担い、きびきびと活動する子どもたち、自信をもって自分の演技・競技に取り組む子どもたちの姿を見て、うれしくなりました。6年生の団体演技の前半(集団行動)、列がきれいに交差する場面では、他学年の子どもたちから思わず「ウォーッ」という歓声が上がりました。最上級生の格好よさに、多くの子どもたちがあこがれをもって見入ったと思います。このように学年が違う子どもたちがお互いに発表を見合い、それぞれのよさに気づくことも、全校で取り組む行事のすばらしさだと思います。

今年度、全校で実施することができたのも、保護者の方々が今年度の実施方法について理解してくださり、参観の際もご協力くださったからです。本当にありがとうございます。また、受付、見回りや誘導などを担当してくださったPTA委員の皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

【友達と心をつなげて頑張った団体演技、私の一言感想をお伝えします。】

1年「ぼくたち・わたしたちのにつき」

難しい隊形移動がとても上手にできていました。クラスごとに創作した表現もかわいかったです。

2年「元気いっぱい えがおリング ～みんなでYMCA～」

前奏部分のジャンプするところに「元気いっぱい」が表れていました。ステップは軽やか、移動も素早くできました。

3年「くじけず笑顔で ぼよんジャンプロープ」

リズムよく笑顔で表現していました。短なわでは一人ひとりが技に挑戦。かけ声もそろっていました。

4年「チャレンジ クローバー」

前半と後半で雰囲気異なる演技でした。4色の布を効果的に使い、華やかに表現していました。

5年「2020 ソーラン節」

拍をとることが難しいじょんから節にもうまく乗っていました。最後まで腰を落として力強かったです。

6年「Last year ～はなれていても心はひとつ～」

真剣な表情に、ばっちりそろったクラブ。「止まれ」でピタッと静止。組体操での等間隔の列も美しかったです。